

## 「全国公立学校退職教頭会の願い」

私たち退職教頭・副校長は、3つの願いを抱き、そのどれもが実現する日を目指して、志を同じくする者たちが、全国から集っています。

### 第一の願い（私たち自身のこと）

私たちは、国を支える力を持った若者たちを育てるために、三十有余年、公教育に携わり、力を尽くしてきました。退職後は、力を尽くして大きな実績を挙げた者については、その功績にふさわしい、校長職同様の叙勲（死亡後の叙位・叙勲の復活を含む）をして頂きたいと願っています。また、その貢献にふさわしい、経済的な面で不安の無い暮らしができることを願っています。退職後の生活は、学校や地域そして各教育関係機関においてボランティア等で特技や才能を生かして社会に貢献し、生涯にわたって生き生きと活躍することを願っています。

### 第二の願い（現職にある教職員のこと）

私たちの後を継いで公教育に携わる者たちが、研修によって自己研鑽に励むことのできるゆとりを持てることと、教員の働き方改革が進み、学校現場が教職員たちと教え子たちにとって、日々触れ合える時間的なゆとりのある場になることを願っています。

### 第三の願い（子どもたちのこと）

公教育を受けて育ちゆき、やがては、国を支える力となる児童・生徒たちに対して、眼前の現実社会に適応する技を授けるだけでなく、困難に立ち向かい強く生き抜く力や遠い未来を見通して、理想を持って、深く考えられる力が身につくことを願っています。また、今後の社会変化を思うとき、AI社会・インターネット社会を、人間らしく生き抜いていく力が育てられることを願っています。

これらの願いをかなえるため、私たちは、交流・親睦を深め、意見交換を行い、互いに知恵を出し合い、要請と発信を重ねながら、組織的に活動していきます。

なお、活動を進める上では、他団体との連携を深めることも大切にしていきます。